

2. 平成11年度事業計画

(1) 平成11年度の技術開発計画

調査項目		調査方法	担当機関 および 担当者
調査項目	技術開発項目		
種苗生産	種苗生産試験	種苗生産の省力化技術の開発	沖縄県 水産 試験場 八重山 支場
中間育成	中間育成試験	中間育成の省力化技術の開発	
	餌料保存試験	餌料価値が高く、時期的に大量に採集できるカクレゴケノリについて、冷蔵、冷凍による保存後の餌料効果について試験する。	
	餌料試験	天然海藻に代わる餌料や、入手しやすいが餌料として不向きな天然海藻の効果的な利用について試験する。	安井理奈
	加温試験	低水温期の斃死対策として、加温による効果を検討する。	
放流技術	標識放流試験	ヤコウガイの殻の頂部に標識を施し、漁場に放流する。	牧野清人
	放流追跡調査	放流した種苗の一部について、追跡調査を行い、残存の状態と食害状況について把握する。	
	漁業実態調査	沖縄県及び八重山海域におけるヤコウガイの漁獲量と漁獲高から、漁業実体について把握する。	
	漁獲物調査	漁獲物調査により漁獲サイズを把握するとともに、放流貝の混獲状況について調べる。	
	標本船調査	漁業者に操業記録を依頼し、ヤコウガイの漁場別漁獲個体数の変動について調べる。	
	標識脱落試験	飼育試験により標識の脱落状況について把握する。	
	大型貝の放流	大型のヤコウガイを漁場に放流することにより、その漁場における資源量を把握する。	